

11月5日は何の日？

津波に関する理解を深め、津波から身を守りましょう。

- 浸水想定範囲を知るには……………P 1
- 浸水時緊急退避施設……………P 2
- 津波から身を守るには……………P 3



(消防署からのお知らせ)……………P 4

11月1日の県内一斉地震防災訓練に参加しましょう！

11月5日は、嘉永7年(1854年)、安政南海地震(M.8.4)による大津波が紀伊半島を襲った日です。その際、和歌山県のある村の郷土が、収穫したばかりの穂を積み上げた「稲むら」に火を放って、暗闇の中で村人を高台に導き、多くの命を救ったという出来事がありました。

この「稲むらの火」の逸話にちなんで、11月5日を「津波防災の日」とし、広島県では、11月1日に一斉地震防災訓練を実施します。訓練の詳細は広島県のホームページをご覧ください。

広島県 地震訓練

検索

【訓練に関するお問い合わせ】

広島県 減災対策推進担当
TEL (082) 513-2781



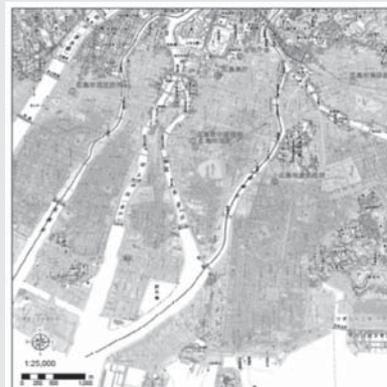
津波による浸水想定範囲を知るには

広島市でも南海トラフ巨大地震などによる津波の浸水が想定されています。「広島県津波浸水想定図」で確認しましょう。詳しくは、広島県のホームページ「高潮・津波災害ポータルひろしま」などをご覧ください。

高潮・津波災害ポータルひろしま

検索

【広島県津波浸水想定図(広島県HP)】⇒



※ 誤植のお詫びと訂正(自主防災ひろしま No.248)

「自主防災ひろしま」No.247号において誤植がありました。深くお詫び申し上げますとともに、訂正します。

訂正箇所：1頁『台風について知ろう』の記事に掲載している台風の強さについて

誤 55m/s以上 ⇒ 正 54m/s以上

津波に関する情報について

津波による災害の発生が予想される場合には、地震発生後、約3分で大津波警報、津波警報または津波注意報が発表されます。

広島市では、いずれの場合であっても、対象区域に避難指示を発令します。

種類	発表基準 (予想される津波高により区分)	発表される津波の高さ		取るべき行動
		数値での発表 (津波の高さ予想の区分)	巨大地震の 場合の発表	
大津波警報	予想される津波の高さが高い ところで3mを超える場合	10m超 (10m<予想高さ)	巨大	直ちに海岸付近や 川辺などから離れ、 急いで高台などの 安全な場所へ 避難しましょう。
		10m (5m<予想高さ≤10m)		
		5m (3m<予想高さ≤5m)		
津波警報	予想される津波の高さが高い ところで1mを超え、3m以下 の場合	3m (1m<予想高さ≤3m)	高い	
津波注意報	予想される津波の高さが高い ところで0.2m以上、1m以下 の場合であって、津波による 災害のおそれがある場合	1m (0.2m≤予想高さ≤1m)	(表記しない)	

津波発生時の緊急一時的な退避場所について

広島市では、津波や洪水、高潮等の際に、市が開設する避難場所等への避難の途中で目前急迫の浸水危険にさらされた場合に、市民等が緊急一時的に退避するための施設として、一定の構造要件を満たした施設について、所有者の方などの承諾が得られた施設（高いビルなど）を「**浸水時緊急退避施設**」として指定しています。

詳しくは、広島市HPをご覧ください。

浸水時緊急退避施設

検索



※「広島市防災ポータル」内の「防災情報マップ」では、地図上で場所を確認することができます。

↑この標識が目印です！

津波に備えて（津波から身を守る5つのポイント）

- 正しい情報をテレビやラジオなどで入手しましょう。
- 津波注意報や津波警報、大津波警報が発表されたとき
直ちに海岸付近や川辺などから離れ、急いで高台などの安全な場所へ避難しましょう。
- 高台などの安全な場所へ避難することが困難なとき
近くの頑丈な建物や浸水時緊急退避施設へ避難しましょう。
- 屋外の移動に危険が伴う場合
建物内の安全な場所（上階）へ避難しましょう。
- 津波は繰り返し来襲します！
津波注意報や津波警報、大津波警報が解除されるまでは、絶対に海岸付近や川辺などに近づかないようにしましょう。



広島市からのお知らせ ～わがまち防災マップを作しましょう～

広島市では、地域の防災まちづくり活動の促進等を図るための防災まちづくり事業を行っています。今回は、「わがまち防災マップの作成支援」についてご紹介します。

わがまち防災マップって？

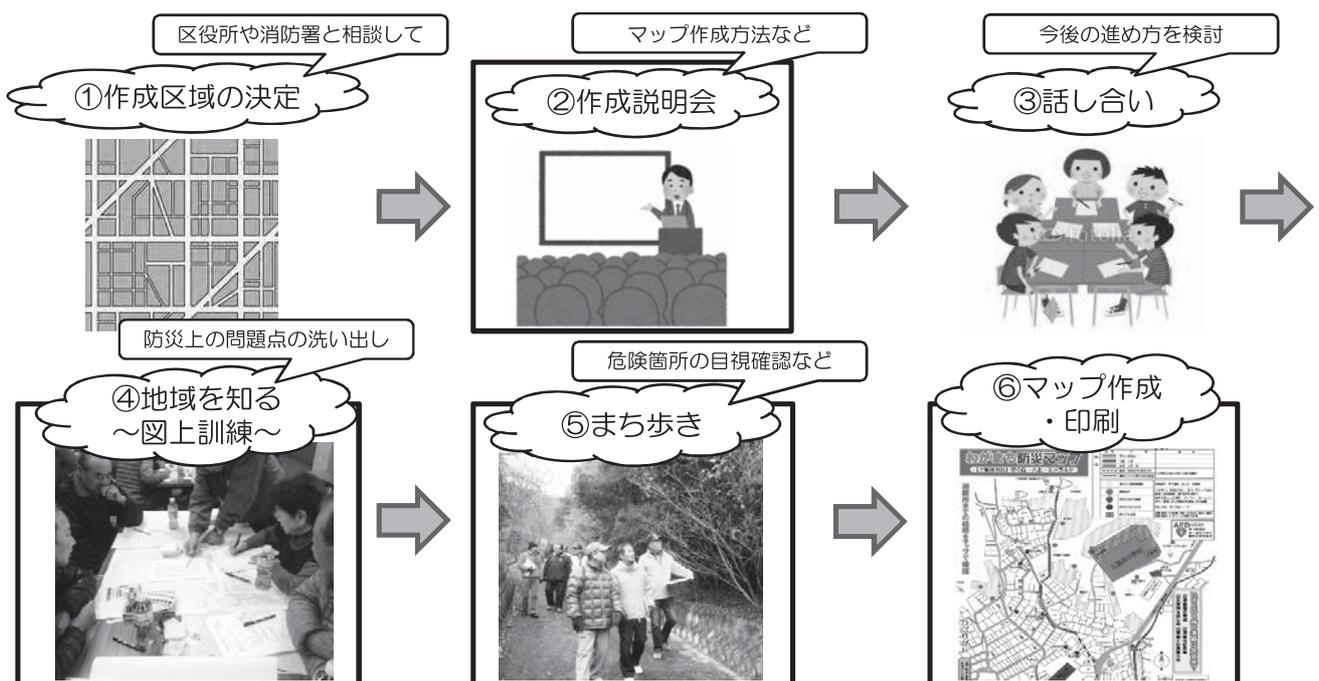
自主防災組織など地域の皆さまが、土砂災害警戒区域などの危険な区域をもとに確認した危険箇所や避難場所など、地域独自の情報を盛り込んで作成する防災マップです。

広島市では、マップ作成を手助けするアドバイザーの派遣や、マップの印刷費などの支援を行っています。

作成した地域の声

これまでマップを作成した地域では、「地域の地形や危険箇所が良く理解できた」「多くの方と貴重なつながりができた」などの意見をいただくとともに、より実効性を高めるため、マップをもとに訓練を行うなどの防災活動が行われています。

作成の流れ ※ □で囲んである部分は、必要に応じて市が支援します。



作成に興味のある方は、お住まいの区役所の地域起こし推進課へお気軽にご相談ください。

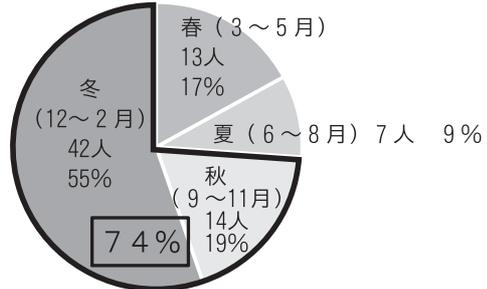
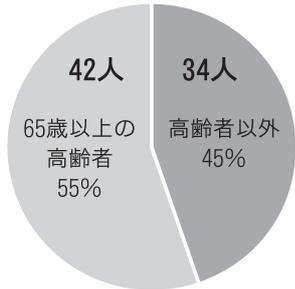


11月9日～11月15日 秋の火災予防運動

火災による死者の発生状況

毎年、火災により尊い命が失われており、その約半数が65歳以上の高齢者です。
また、死者が発生した火災は秋から冬の間に約74%と高い割合で発生しています。

【過去5年間（平成24年～28年）の火災による死者（76人）】



平成28年9月から29年2月までの火災発生状況

広島市消防局管内における平成28年9月から29年2月までに発生した火災原因TOP 5は次のとおりです。火の取り扱いには十分注意してください。

第2位 こんろ（19件）

調理中にそばを離れるのは危険です！



第3位 たばこ（14件）

寝たばこやたばこの
投げ捨てはやめましょう！



第1位 放火（22件）

家の周りに燃えやすい
ものを置かない



第4位 火遊び（9件）

火遊びは
危ないよ！

ストーブの上に
洗濯物を干さない！



第5位 ストーブ（6件）

冬期火災件数121件（平成28年9月～平成29年2月）



こんな事例

てんぷらを揚げるため、IHクッキングヒーターの揚げ物温度機能を設定し、リビングで油温が上がるのを待っていたところ、温度機能が正しく作動せず、油温が上昇し火災になった。

Point!

IHクッキングヒーターも状況によって正しく機能しないことがありますので、調理中はこんろの側から離れないようにしましょう。

お問い合わせ先

広島市消防局予防部予防課	TEL:082-546-3476	FAX:082-249-1160	E-mail:fs-yobo@city.hiroshima.lg.jp		
中消防署予防課	TEL:082-546-3511	東消防署予防課	TEL:082-263-8401	南消防署予防課	TEL:082-261-5181
西消防署予防課	TEL:082-232-0381	安佐南消防署予防課	TEL:082-877-4101	安佐北消防署予防課	TEL:082-814-4795
安芸消防署予防課	TEL:082-822-4349	佐伯消防署予防課	TEL:082-921-2235		